

📖 今月のおすすめ本 📖

『リーゼ・マイトナー 核分裂を発見した女性科学者』【289.3/マ】

マリッサ・モス / 著、中井川 玲子 / 訳(2024)岩波書店

核分裂の発見という世紀の大発見をしたにも関わらず、長くその功績が評価されなかった女性の物理学者リーゼ・マイトナー(1878~1997年)。女性に高等教育の門戸が閉ざされていた時代に、「世界のしくみを探求したい」という思いを抱き、ウィーン生まれのユダヤ人であるマイトナーがドイツへ渡りどの様に研究を進めていったのか、本書は当時少なかった女性の物理学者として研究に捧げた彼女の生涯を書いています。

女性であることやユダヤ人であることからの差別を受けてもなお研究を続け、「人間性を失わなかった物理学者」といわれたマイトナーの生涯を読んでみませんか。緊迫するベルリンからの脱出劇は手に汗握ります。

📖 リーゼ・マイトナーの本、紹介されている本

『リーゼ・マイトナー 嵐の時代を生き抜いた女性科学者』【289.3/マ】

R.L.サイム (2004)シュプリンガー・フェアラク東京

『世界と科学を変えた52人の女性たち』【402.8/ス】

レイチェル・スワビー(2018)青土社

『女性と天文学』【440.28/ナ】

ヤエル・ナゼ/著、北井 礼三郎、頼 順子/訳(2021)恒星社厚生閣

本書はもとより女性の科学者が少ない中、天文学における数々の発見や現在の研究論拠になる基本部分においてもいかに女性天文学者が関わってきたか、20名に上る女性を歴史的に紐解きながら、その知られざる活躍について紹介している本です。

18世紀になっても女性は観測の細かい記録の整理や書類を作成するなど、兄弟や夫の研究の補助的役割を果たすにとどまることが多く、女性天文学者は天文学への貢献が大きいかかわらず、それがあまり知られていない事に驚きます。今度夜空を見るときには、天体に魅せられて強い光を放った彼女達の生涯に思いを馳せてみませんか。

📖 古代に数学・天文学・哲学の分野で名の残る ヒュパティア 〈児童書〉

『世界を変えた50人の女性科学者たち』【402.8/イ】レイチェル・イグノトフスキー(2018)創元社

📖 天文学研究で給料をもらった最初の女性 カロライン・ハーシェルが載っています〈児童書〉

『偉大な発見と発明!女性科学者&エンジニアたち 世界を驚かせた女性の物語2』

【280/A】ジョージア・アムソン ブラッドショー(2020)旬報社

📖 アメリカの天文学者 ヘンリエッタ・リービットが紹介されています

『世界を変えた10人の女性科学者 彼女たちは何を考え、信じ、実行したか』

【402.8/ウ】キャサリン・ホイットロック(2021)化学同人